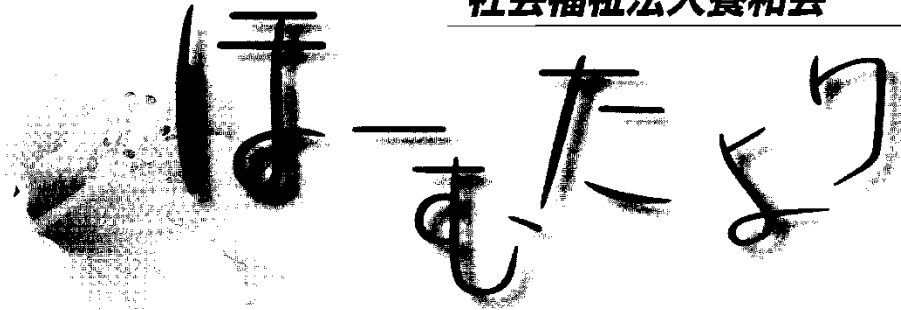


社会福祉法人養和会



第10号

発行者 社会福祉法人養和会 東京都八丈島八丈町大賀郷 7670-1
tel 04996-2-0770 fax 04996-2-0432

皆様に支えられて

理事長 沖山芳清

この季節、八丈島はジャガイモの収穫がちょうどした風物です。言わずもなかもかもしれません、ジャガイモの原産地は南米のアンデスで、渡来したのがインドネシアのジャガタラ（ジャワ）だったことから、ジャガタライモのなまっ

が届き、肉ジャガやポテトサラダなどお年寄りの食卓がにぎわいます。

たものが名の由来だと言われています。八丈で多く作られている品種は、男爵やメークインで、北海道の川田男爵がアメリカから取り寄せたのが男爵で、イギリスからやってきた文字どおり五月の女王が、メークインだそうです。

また、年間をとおしてそれぞれの季節の新鮮な野菜や魚などをいただきます。皆様からの善意の食材は、たしかな腕前の調理人によって、さまざまに料理に活かされます。食事のおいしさは養和会の自慢の一つで、ホーム入所者やデイホームを利用するお年寄りに、とても喜ばれています。

聞いた話では、東京への宅配便で圧倒的にジャガイモが増えるのもこの季節の特徴とか。もちろん、商売ではありません。都会に住んでいる親戚や知人の「八丈のジャガイモはうまい」の声にこたえているのです。

このような食材のほか、寄付金や介護用品、果物やお菓子など様々なご芳志、さらにホームまつりや、夏祭りへの出店、協力、庭の手入れや室内でのボランティア活動など、皆さんの「おたがいさま」の心があります。

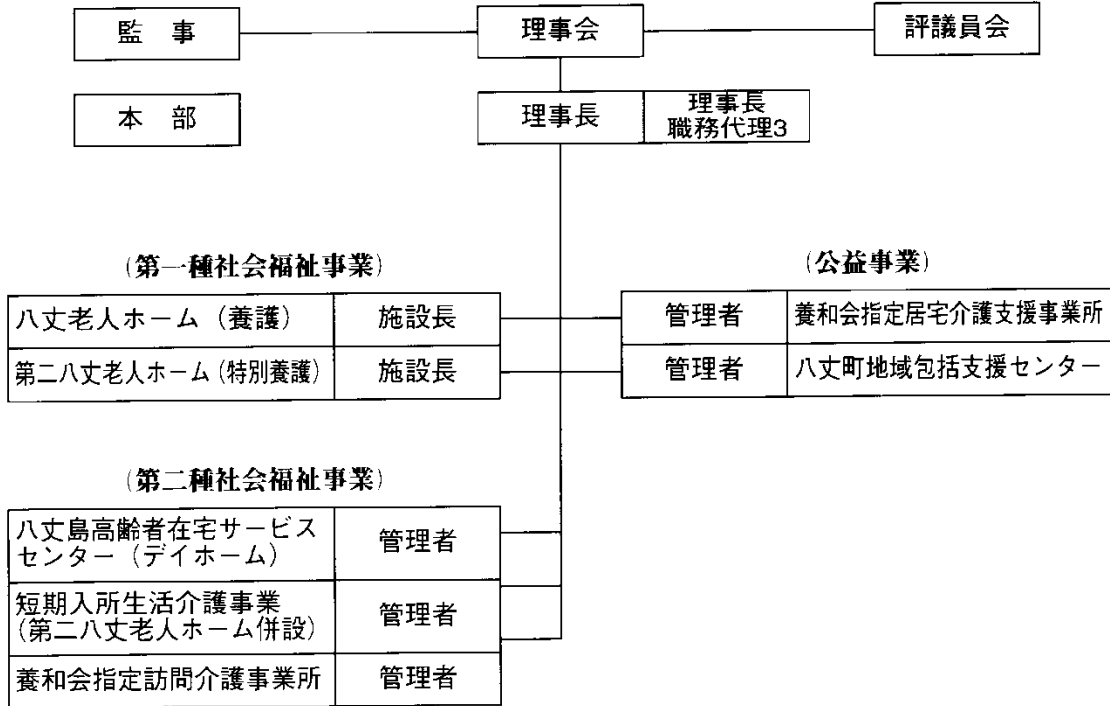
都会では人と人との関係が希薄になっていると言われますが、八丈には今も子どもやお年寄りを大切に、隣近所が助けあう「おかげさま」「おたがいさま」という感謝や思いやりの心があり、地域の強いきずなになっていると言えるでしょう。

養和会の財政は決して豊かではありませんが、地域の皆さんの物心両面からのご支援を糧として、役員一丸となって頑張ります。本年度は地域に密着した高齢者施設として、利用者本位のサービス提供を目指し「サービスの向上」「人材育成」「経費節減」を重点目標と定めました。今後ともよろしくお願いいたします。

そうした地域の皆さんから私ども養和会にも、毎年、初夏のたよりのようにお美しい新ジャガ

「おかげさま」の感謝をこめて。

社会福祉法人養和会の組織



養和会の理事・監事・評議員

理事	沖山 芳清 (理事長)	評議員	小宮山 建
	山下 ミヤ子 (理事長職務代理)		奥山 妙子
	大澤 幸一 (理事長職務代理)		金川 津屋子
	菊池 孜行 (理事長職務代理)		櫻井 洋子
	松代 勝子		菊池 哲弘
	伊藤 康江		菊池 すまこ
	冬木 克良		菊池 綾子
	星野 達夫		金川 美枝子
	奥山 弘喜 (八丈老人ホーム施設長)		笹本 久美代
	笹本 長利 (第二八丈老人ホーム施設長)		菊池 広一
監事	間仁田 貢	浅沼 烈	
	沖山 義人		

ボランティアの皆様に支えられて

養和会には、個人、利用者のご家族、さまざまな団体がボランティアとして係わってください、利用者の生活に潤いや施設管理を支援していただいています。
多数ある中から、今回は3例ほどご紹介し



まず、五月十二日、民生委員協力員の男性の方に、中庭の草取りの後に「明日葉の苗」を植えて頂きました。新鮮な明日葉を、利用者の方様に食べていただきます。また、女性の方にはオシメ用の布を切っていただきました。年に3回来ていただいています。



次は、芦沢栄さんです。月曜から金曜日の午後、洗濯物をたたみに来ていただいています。「午後のひと時を、お茶とお菓子で休憩しながら、入所者の方と楽しい会話を交わすのが何よりで、一日でも長続きさせたい」とおっしゃっていました。

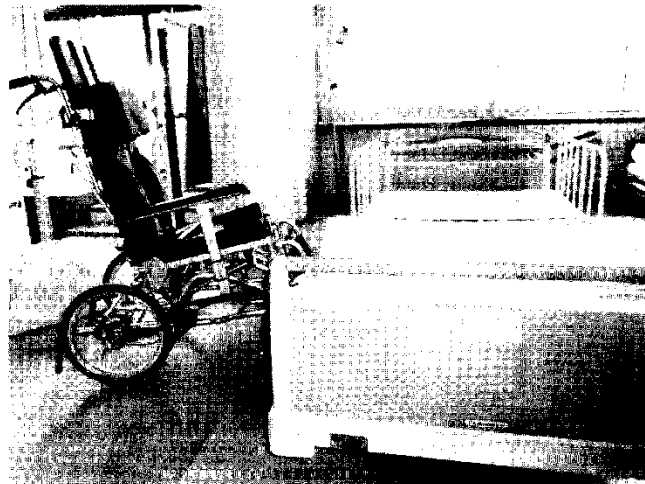


最後は、四月十二日、大賀郷地区の老人クラブの方四十名近くが米所、花壇の草取りをしてくださりました。ホームまつりの直前で、非常に助かりました。写真が掲載できず申し訳ありませんが、本当にありがとうございます。

HAT 30周年記念事業

車いす、電動ベッド寄贈のご報告

創設30周年を迎える八丈島空港ターミナルビルから車いす(2台)と電動ベッド(2台)をいただきました。お礼とご報告を申し上げます。



◎車いす

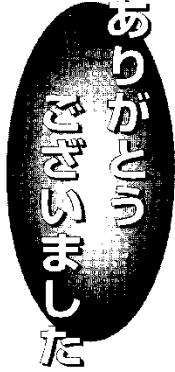
第一八丈老人ホームで使わせていただいています。

◎電動ベッド

高齢者在宅サービスセンターで使わせていただいています。

平成21年度第三者評価について

- | | |
|--------|-----------|
| 赤坂幸仁 | 金田雅年 |
| 木村尚子 | 田代和久 |
| 赤松交通 | 菊池浄 |
| 毛塚靖正 | 田代賢一 |
| 浅沼エリ子 | 菊池スミ |
| 菊池弘枝 | 田代美代子 |
| 後藤鶴子 | 菊地肇 |
| 浅沼幸子 | 立川ふさ子 |
| 小松トミ子 | 菊池誠 |
| 浅沼商店 | 田中いづみ |
| 小宮山建 | 菊池陽之助 |
| 浅沼まち子 | 谷中田昭子 |
| 西條司 | 手柴ひろみ |
| 浅沼良清 | 吉田仁 |
| ささお莊 | 伝法俱代 |
| 新井三雄 | 立正佼成会 |
| 佐々木栄子 | 内藤保 |
| 石田光春商店 | (株)ロングライフ |
| 佐々木貞次 | 長井スエ |
| 磯崎光彌 | 中西登志江 |
| 笹木長利 | 西井良 |
| 伊藤峯代 | 日本絵手紙協会 |



当養和会は多くの皆様から、現金、野菜、花、その他施設に有用な物品などの寄付を頂きました。左記にご氏名を掲載し、ご芳志に厚く感謝申し上げます(昨年10月から本年3月まで、順不同、敬称を略させて頂きます)。

第三者評価とは…

いざ福祉サービスが必要となったときに「自分の利用したい事業所の特徴はどのようなことか」「サービスの質はどのような状態にあるのか」など、利用者の皆様が事業所の内容を把握することが可能となるように、各事業所の評価結果が公表されます。

養和会では、八丈老人ホーム、第二八丈老人ホーム、八丈島高齢者在宅サービスセンターの各事業所について実施し、その結果をサービスの向上や運営の改善に役立てるものです。ここでは、「全体講評」のみをお知らせしますが、評価結果の詳細は、養和会事務所で閲覧できます。

一、八丈老人ホーム

○特に良いと思われる点

①趣味を通してその人らしい生活を送ることが出来る環境の提供

入所前の情報を参考にサービス利用前の生活を継続できるように支援している。不安やストレスを軽減できるよう、利用者の趣味の把握に心がけ、利用前の生活のリズムが確保できるように努めている。多くの利用者が得意とする書道・農業・裁縫等ができる環境の提供に務めている。

②専門分野の職員と支援員が協力して、食事面からの健康維持の工夫

栄養状態のリスク分類や体調の減少率等をグラフ化して定期的に開示している。低栄養、肥満の傾向をつかみ、予防対策が速やかにとられる。

ている。嗜好調査、残菜調査等を把握し、内容を吟味して、献立作成に生かしている。

③各職種間で協働してのホームページの開設

平成21年7月より、課題のホームページを開設し、島外の利用者も施設の情報を容易に得ることができるようになった。又、島の情報ページからも事業所ホームページを見ることがや問い合わせを行うことが可能となった。広報誌の島内全世帯配布に加え、役場、社会福祉協議会、各医療機関にも必要な情報を提供している。

○さらなる改善が望まれる点

①施設の現状に合わせた各種マニュアルの改変の検討

サービスの基本事項や手順等の見直しや更新等の時期が明確に示されていない。今後、現状に合わせた見直しが期待される。

②家族等の協力を得ながら、利用者が快適に生活できる支援を目指す

利用者の約9割の方が家族が島内に居住しており、家族等の協力が得られやすい環境にある。家族等の交流を積極的に行い、信頼関係を築き、利用者の支援を目指すことに期待したい。

③中長期計画、職員処遇計画や経営・財務管理の抜本的な改善

年度事業計画は、各部署や行事、委員会など担当別計画、月ごとの短期計画は明示しているが、職員処遇計画や経営・財務管理を抜本的に改善するため、法人全体の中長期計画の策定が課題である。

雑賀繁雅 橋場晶子

大沢一勝 土方功子

佐藤博久 藤巻商店

大沢玉政 船橋一市

佐藤正幸 洞口明久

沖山利美 松井徳美

篠崎文峰 三浦正三

沖山明治郎 三崎佑

奥山隆久 三根婦人会

商工会 女性部 持丸友恵

奥山繁利 盲目 平次郎

商工会 青年部 森秀商店

小崎さと子 山隈幸代美

高橋秀亨 山下忠宏

小沢三井 八丈ナーセリー

高安医科 山下芙美子

金尾玄洋 山田幸子

田代至

八丈島警察署ほうべい園

八丈町社会福祉協議会

養護老人ホーム利用者

(有)あしたば加工工場

◎お願い◎

ホームでは、使用済みのシーツやタオルなどの布の寄付をお願いします。

二、第二八丈老人ホーム

○特に良いと思われる点

①咀嚼低下への対応食事径庭の充実、行事食の工夫

「ソフト食」を充実するとともに、安易に景観栄養に移行しないよう、栄養補助食品を使用した新しいペースト食にも取り組んでいる。

②サービス終了時に家族や利用者が不安を抱かないように支援

長期療養により退所となる場合には関係機関や家族との連携を続け、家族等の状況に応じることができる範囲で手伝いを続けている。ターミナルケアについても、医師と連携しながら実際の容態等、状況に変化が生じた時点で家族の希望を再確認し、臨機応変に支援を行っている。

③各職種間で協働してのホームページの開設

八丈老人ホームに対する評価と同じ。

○さらなる改善が望まれる点

①職員間共有情報の整理と活用の工夫

毎日のミーティングを中心に職員間で情報を共有している。各種会議も職員会議、給食懇談会、処遇会議、リハビリ会議等があり、利用者本位の支援を行っていることが訪問調査（第三

者評価機関の）でよく理解できた。しかし、職員間で情報の共有が困難に思われる。各種会議の議事録及び整理の仕方を工夫する必要がある。

②施設の現状に合わせた各種マニュアル変更の検討

食事、入浴、排泄等の各業務の流れに沿ったマニュアルの、サービスの基本事項や手順の見直しは寮母会にて提案し、個別処遇会議や各委員会等で改善に努めている。しかし、業務の中で日常的に活用することは少ないようである。見直された手順書を活用して、職員の技術向上及び良いサービスの提供に繋がる工夫が求められる。

③中長期計画、職員処遇計画や経営・財務管理の抜本的な改善

八丈老人ホームに対する評価と同じ。

三、八丈島高齢者在宅サービスセンター（デイサービス）

○特に良いと思われる点

①利用者の個別状況に配慮した食事の提供

利用者アンケートでは、食事の献立や食事の介護に関する満足度は「9割以上」で非常に高い満足度が得られている。咀嚼機能が低下した利用者にはソフト食を導入して、食事をおいしく楽しめるようにしている。又、地元食材を

活かして季節感を盛り込んだ献立づくりの工夫も見られる。

②住み慣れた環境で、利用者の個別状況に寄りそった支援

利用者と職員とのコミュニケーションを重視し、言語的な対応だけでなく、ジェスチャーなど非言語的な対話にも工夫している。認知症の利用者には、個々の状況を把握して、落ち着いて過ごせるよう多様な対応に努めている。又、地域特性から昔からの友人知人と一緒にサービスを利用できる環境にあり、安心して過ごせる場として機能している。

③医療依存度の高い利用者にも積極的に取り組んでいる

利用者の医療的な情報は、居宅介護支援事業所の事前訪問調査に看護師も同行して把握している。気管切開している利用者などの医療的な管理が必要な利用者の受け入れを実施している。

○さらなる改善が望まれる点

①利用者の重度化に向けたマニュアルの再検討

利用者の重度化が進んでいることから、現場職員はより一層、現状に即した業務マニュアルの見直しの必要性を認識しているようである。利用者アンケートでは、プライバシーへの気遣いの評価が低い。建物の構造上、解決が困難な部分も推察されるが、改善の取組みに期待したい。



ホームの藤棚にハトが
巣を作りました。



< 養護遠足 >

5月21日 養護老人ホームでは、大賀郷園地にでかけて、第24回輪投げ大会を開催し、みんなで楽しみました。

< 夢伝大会 >

11月29日 特別養護老人ホームでは、第7回八丈島夢伝に13名が車椅子で参加しましたが、スタート直後の雨でリタイアしました。張り切っていたのに残念でした。



②通所介護計画書作成の推進と、それに基づくサービスの提供
今年度の通所介護計画書は、以前の居宅介護支援事業所の計画書に基いたサービスの提供に比較すると、それぞれの利用者の課題に応じたサービスの提供がなされるようになった。今後、随時個人のニーズを通所介護計画に反映させ、計画に基づくサービス提供の必要があると思われる。

③利用者の重度化に伴う活動プログラムの工夫
看護師による機能訓練だけでなく、介護職員においても、利用者個々の状態に合わせた手指や下肢などの訓練となる活動に配慮している。特に、介護職員は集団のレクリエーション等を通じて身体を動かしたり、頭を使う機会を提供するよう心がけている。しかし、利用者の重度化に伴い、活動プログラムの工夫が課題となっている。



ホームまつりのお礼

去る4月18日、第19回目となるホーム祭りを無事終えることができました。好天に恵まれ、10時の開場前から、多くの皆様に正門で待っていただきました。800名以上の来場者があり、祭は大成功でした。駐車場を利用した祭り会場は、フリーマーケット、多くの皆様から寄せられた商品のバザー、焼き

そば、今川焼きなどの模擬店で賑わいました。又、建物内でのホーム利用者の作品展や、体験教室にも多くの方がつめかけていました。個人ボランティアの方々をはじめ、老人クラブ、婦人会、八高、社会福祉協議会、八丈町、八丈支庁の各団体には、前日からのテント張り、机・椅子の運搬、バザー商品の整理・販売など大変な業務に御協力いただきました。心から御礼申し上げます。来年も開催を予定しておりますので、お客様としてのご来場は無論のこと、開催を支援してくださるボランティアとしても参加下さるようよろしくお願い申し上げます。

(まつり担当職員一同)

お願い (食中毒の予防)

当ホームの給食は、6月から9月の4か月間、刺身などの生モノを避けています。

利用者のご家族の皆様には、特にこの期間、食中毒の原因となりやすい食品の差し入れを止めて頂くよう、お願い申し上げます。



今年の夏まつりの様子

夏まつりのお知らせ

今年も、8月9日(月)に夏まつりを開催することになりました。昨年同様、松会や連合婦人会、榎立踊り保存会など、いろいろな方に参加をお願いし、にぎやかで楽しい祭りになりたいと思っています。また、多数の模擬店の出店も予定しております。是非お越し下さい。

